

---

## 岐阜県立益田清風高等学校

学校長 田中 彰

学校住所 岐阜県下呂市萩原町萩原 326-1 電話 0576-52-1021

---

- 1 会議の名称 益田清風高校について語る会（平成30年度第2回）  
学校関係者評価委員会
- 2 会議の構成
- |     |       |                |            |
|-----|-------|----------------|------------|
| 委員  | 上田 克巳 | 萩原チキンセンター役員    | (欠席)       |
|     | 神戸 忠浩 | 育友会長           |            |
|     | 布目美智男 | 山喜建設(株)代表取締役社長 |            |
|     | 富士本雅子 | 主婦             |            |
|     | 二村 一範 | 元金山中学校長        | (欠席)       |
|     | 間所 拓也 | 飛騨螺子製作所代表取締役社長 | (欠席)       |
|     |       |                | (委員名は五十音順) |
| 学校側 | 田中 彰  | 校長             |            |
|     | 丹羽 清徳 | 教頭             |            |
|     | 中村 浩一 | 教頭             |            |
|     | 渡辺 圭子 | 教務主任           |            |
|     | 上田 界堂 | 生徒指導部長 (代理)    |            |
|     | 後藤 洋治 | 進路指導部長         |            |
|     | 野村 敦志 | 特別活動部長         |            |
|     | 塚中 一成 | 保健安全部長         |            |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの理解・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年1月25日（金）14：00～15：40 益田清風高校校長室  
委員3人と学校側8人が出席
- 5 日程
- |     |                 |             |
|-----|-----------------|-------------|
| (1) | 課題研究発表会参観（星雲会館） | 14：00～14：25 |
|     | 校長室へ移動          | 14：25～14：50 |
| (2) | 語る会（学校関係者評価委員会） | 14：50～15：40 |
|     | ・参観のご感想         |             |
|     | ・自己評価に対する学校評価   |             |

## 6 発表会参観の感想

- 感想 1 全ての発表において、HPの作成や今回のプレゼンの方法など高校生が作成するその技術の高さに驚いた。専門的な知識の説明も分かりやすく、写真の取り入れ方から文字の大きさなど大変高いレベルだった。すぐにでも社会に出て活用できるすばらしいものだった。
- 感想 2 小学校への出前授業について、そのような取組があることに驚いた。教える側の高校生にとっても貴重な体験であるし、それを受ける小学生にも貴重な時間だと感じた。今後も継続的に行ってほしい。
- 感想 3 大学・専門学校などで地元を離れても、再び戻ってくる地域であってほしい。戻ってきたくなる地域となるためには、市として子育てしやすいとか、病院や学校などの環境が整っていること、働く場(産業)などの受け皿が大切。これは行政的な面で大人がやることであるが、今回は地元の高校だからこそ地元のことを考えてくれているその姿をたくさん見られたことは大変良かった。また地元の住民のみならず他地区から入ってくる人たちともうまく溶け合っていける地域社会作りが大切だと感じた。
- 感想 4 非常に分かりやすく聞きやすいものが多かった。今回の高校生のアイデアのプレゼンを下呂市の観光課を通して広く外部に一般公開しても良いのではないかと感じた。一部関係者だけのものとしては大変もったいないことだと思う。

## 7 自己評価に対する学校関係者評価

- 意見 1 昨今の大学入試制度の大きな改革に合わせて柔軟な対応をしていただいている。
- 意見 2 いじめや問題行動等には小さな芽のうちに素早く対応して、大きな問題になっていかない取組が感じられた。
- 意見 3 地元就職に関して、土木・観光・福祉に就く生徒の不足を懸念する。地元に戻り就職ができる地域の受け皿も大切だが、その教育も大切である。長い目を持って取り組んでいただきたい。
- 意見 4 インターアクト部のボランティア活動は毎年行われていてすばらしい。地域の回覧板などを利用してのお知らせも分かりやすく今後も続けてほしい。
- 意見 5 今年度に多く起こった災害に対してのボランティア活動を積極的に行う高校生の姿が見られた。上呂地区の断水における生活用水の補給や金山地区における水害ごみ処理活動。そのような活動に積極的に参加する教育も大切だと思う。下呂市の事業の中に災害に関する講師派遣のシステムがあるので活用することも一つの手段だと思う。

## 8 会議のまとめ

第2回は星雲会館で経営情報課の課題研究発表会を参観していただき、その後会議を持った。

会議では各自己評価を学校側から説明し、委員の方々からご質問や、本校教育活動全般へのご意見をいただいた。

地域に貢献していこうという様々な取組に対して評価をいただいた。また本校に対する高い期待と、様々なご意見やご助言をいただいた。来年度の参考にしていきたい。

委員の皆様にはご多用の中ご出席していただき、貴重な意見を賜ったことに対して厚く感謝いたします。